

# いわき農林水産ニュース

(ごちそう ふくしま絆づくり運動ニュース)

1月号 発行 平成24年1月27日



## 〈東日本大震災関連〉



### 「いわき地方の農林畜産物 モニタリング調査結果」について

福島県が行ったいわき地方の12月の農林畜産物のモニタリング調査の結果をお知らせします。

調査は17品目71点行い、セシウムの検出限界値以下が16品目52点、暫定規制値内で検出されたもの1品目19点、規制値を超えたものはありませんでした。

規制値内で検出されたものは、牛肉のみの1品目であり、検出された数値の最高は41ベクレル/kgでした。

なお、1月12日現在、いわき地方産の農林畜産物で出荷が規制されているのは、栽培きのこの原木なめこ(露地栽培)や野生きのこトコジ、加工品では乾シイタケとなっています。

調査結果は、福島県のホームページ「ふくしま 新発売。」農林水産物モニタリング情報で簡単に検索できますので、結果を確認し、納得のうえ是非いわき市産の農産物を御賞味ください。

放射性物質が検出されなかったものの数	放射性物質が検出されたものの数		計
	19(牛肉のみ)		
	規制値内で検出されたものの数	暫定規制値を超過したものの数	
52	19	0	71

1点も放射性物質が検出されなかった農林畜産物	暫定規制値を超過した農林畜産物
トマト(施設) ホウレンソウ(施設) 原木ヒラタケ(露地) コマツナ(施設) キャベツ 菌床シイタケ(施設) ブロッコリー ハクサイ 豚肉 キュウリ(施設) シュンギク(施設) 原乳 イチゴ(施設) ネギ ホウレンソウ ナガイモ	なし



### 「福島県復興計画」を策定しました。

12月28日(水)、県では福島県復興計画(第一次)を策定しました。この計画は、平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震やその余震及び、これらに伴う東京電力福島第一原子力発電所事故のほか、福島・新潟豪雨などの災害からの復興を進めるため、8月11日に策定した復興に当たっての基本理念や主要施策を定めた復興ビジョンに基づき、今後10年間の具体的な取組や主要事業を総合的に示すものです。

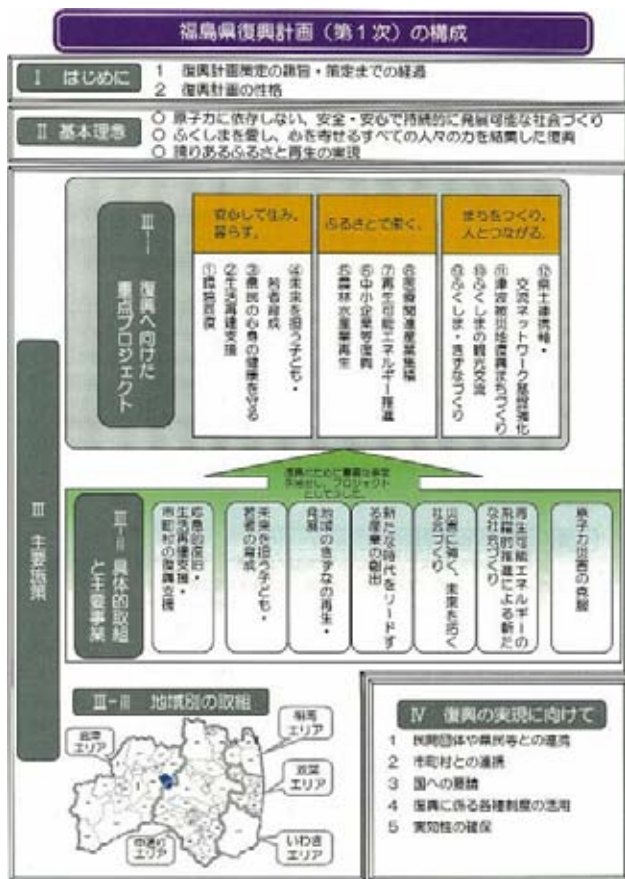
復興計画では、主要施策に重点プロジェクトなどの具体的な取組を示してまとめてあります。

さらに、いわきエリアの地域別取組では復興へ向けた考え方として、被災施設の早期復旧及び、復興へのまちづくりの取組推進や双葉エリアとの連携協力体制整備など、避難住民への帰郷の足掛かりとなる支援等を定め、主要な取組として、環境回復(徹底した除染)や産業の再生及び創出(温暖多日照な気象条件を生かした大規模施設園芸の導入)など6項目を計画しています。

復興計画は、原子力発電所事故の収束状況、避難区域の変更等の状況を踏まえ、適時柔軟に見直しを行うこととしており、今後は、さらに具体的に復興事業が進んでいくこととなります。

また、いわき市においては、10月に3年間を期間とする復旧計画が、12月26日には10年間を期間とする復興事業計画(第一次)が策定され、復旧・復興が具体的に進められることとなります。

そのほか、小名浜地区では12月16日(金)の、いわき・ら・ら・ミュウの再開に続き、津波被害を受けて休業中だった小名浜美食ホテル及び、小名浜さんかく倉庫も復旧・再開しましたので是非、足を運んでみてはいかがでしょうか。



(福島県復興計画(一次)の構成)

## 〈一般情報〉



**希望(ゆめ)ワイン『レ・ジュー・デ・ラパン』の発表会が開催されました。**

12月21日(水)いわき市鹿島町のパレスいわやにおいて、株式会社いわき遠野ラパンの主催により、「希望(ゆめ)ワイン『レ・ジュー・デ・ラパン』」の発表会が開催されました。

「レ・ジュー・デ・ラパン」とは、遠野地域に自生する山ブドウとフランスブルドー産メルロー種ブドウを交配させたブドウから作られたオリジナルワインです。

いわき遠野ラパンでは、農業と観光を融合させたワイナリーの新設を計画し、平成22年春、山梨県北杜市の農業生産法人「ヴィンテージファーム」に遠野町産の山ブドウの苗約1,500本を持ち込みメルロー種と交配させ、23年春に育った苗を遠野町の畑に移植してワインを醸造する計画でした。しかし、3月に発生した福島第一原子力発電所事故による影響が懸念され

たため、遠野町への苗の移植を断念し、山梨県へ移植を行い「福島生まれ、山梨育ち」のワインを製造・販売することとなりました。

始めに、株式会社いわき遠野ラパンの平子社長よりあいさつがあり、「レ・ジュー・デ・ラパン」発売までの困難な道のりや、将来は、いわき市遠野町でブドウの栽培からワインの生産までを行う“いわき市遠野のワイン”を目指し、このワインをいわき復興のシンボルにしたいとの熱い思いが語られました。

その後試飲会が行われ、参加者はいわきの復興を願いながら「レ・ジュー・デ・ラパン」のおいしさを実感していました。



(希望(ゆめ)ワイン『レ・ジュー・デ・ラパン』を発表する平子社長)

なお、「レ・ジュー・デ・ラパン」は、500ml入りで1本3,000円(このうち500円が義援金)で、発表会が開催された12月21日から3,000本限定で販売されています。

(問い合わせ先  
株式会社いわき遠野らぱん 電話0246-89-3125)



(希望(ゆめ)ワイン『レ・ジュー・デ・ラパン』)



## いわき市中央卸売市場で 青果などの初市式が開催 されました。

1月4日（水）及び5日（木）の2日間、いわき市中央卸売市場において初市式が行われました。

式では、いわき市長及び市議会議長のあいさつに続き、参加者全員が手締めを行い、今年一年の市場の賑わいが期待されるなか、青果部においては、市場の安全と繁栄を願って縁起の良い紅白の餅などが撒かれたほか、果物や野菜を使って作られた宝船が飾られるなど参加者の笑顔と活気に満ちた新年のスタートになりました。

その後に行われた初せりでは、せり人や仲卸業者などの威勢よいかげ声が響きわたるなか、次々と商品が競り落とされ、消費者のもとへと運ばれていきました。

いわき市中央卸売市場は、東日本大震災からの一日も早い復旧・復興を後押しするため、食料品等の安定供給の役割が期待されています。



（いわき市中央卸売市場の初市式の様子）



## 平成24年平木材市場初 市式が開催されました。

1月13日（金）、いわき市内郷の株式会社平木材市場において、平成24年初市が、同市場で行われました。

初市には、木材関係者ほか約120名が出席し、来賓を代表していわき農林事務所戸井田所長の復興後の木材需要増を期待するあいさつに続いて、市が開始されました。

市には、スギ、ケヤキ、クリなど素材2,500 $\text{m}^3$ 、製品1,000 $\text{m}^3$ の優良材が入荷するなど普段の倍以上の量となりました。

当日は天候にも恵まれ、活気に満ちた競り売りにより、スギ中目材が1 $\text{m}^3$ 当たり1万3000円台の値を付けたほか、ケヤキの優良木も高値で取引されるなど、幸先の良い初市となりました。



（平木材市場の初市の様子）

# いわき農林事務所からのお知らせ



ふくしまの最新情報を「ふくしま 新発売。」に掲載していますので  
どうぞご利用ください。

<http://www.new.fukushima.jp/index.html>

1 「がんばろう ふくしま応援店！」一覧

2 イベント情報

3 農林水産物モニタリング情報

(1)モニタリング情報検索

(2)出荷制限等一覧表

## 行事のお知らせ

### 農用地除染に伴う反転耕実演会（いわき）

日 時 2月2日（木）13:00～15:00（大久町小久集会所集合）

主 催 福島県

場 所 実演会 いわき市大久町小久字火之口地内（水田）

対 象 農業者、農業団体、市町村、県等

参加申込 いわき農林事務所農業振興普及部

電話 0246-24-6262 FAX 0246-24-6196

詳細は、いわき農林事務所のホームページをご覧ください。

「東日本大震災」及び「原発事故」からの復興のために！

がんばっぺ“ふくしま!!”がんばっぺよ“いわき!!”

平成23年12月28日 福島県復興計画（第一次）策定

皆様からのご意見・情報をお待ちしております。

福島県いわき農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒970-8026 福島県いわき市平字梅本15番地

（県いわき合同庁舎 3階）

TEL (0246)24-6152 FAX (0246)24-6196

U R L <http://www.pref.fukushima.jp/norin-iwaki/>

E- Mail [iwaki.nourin@pref.fukushima.jp](mailto:iwaki.nourin@pref.fukushima.jp)

